第４回若者まちづくりミーティング

日　時　　平成28年9月３日（土）
午後２時から午後４時30分まで

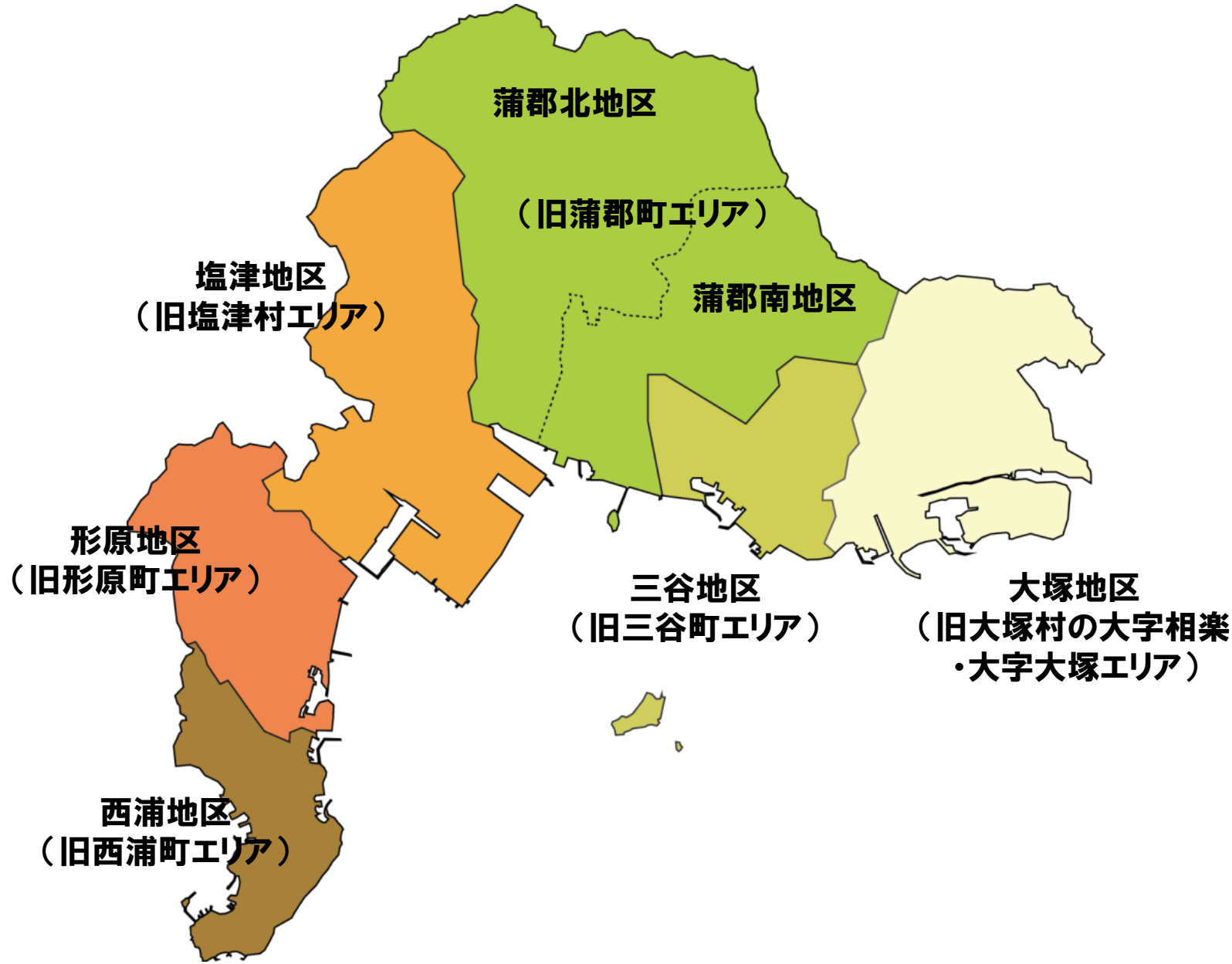
1 「地区利用型施設」とは

- 「地区利用型施設」とは、地区の住民が主な利用者となる施設であり、「公民館」、「小中学校」、「保育園」、「児童館」があります。
- 「地区」の捉え方は様々ありますが、蒲郡市には7つの中学校区（西浦、形原、塩津、蒲郡北、蒲郡南、三谷、大塚）があります。

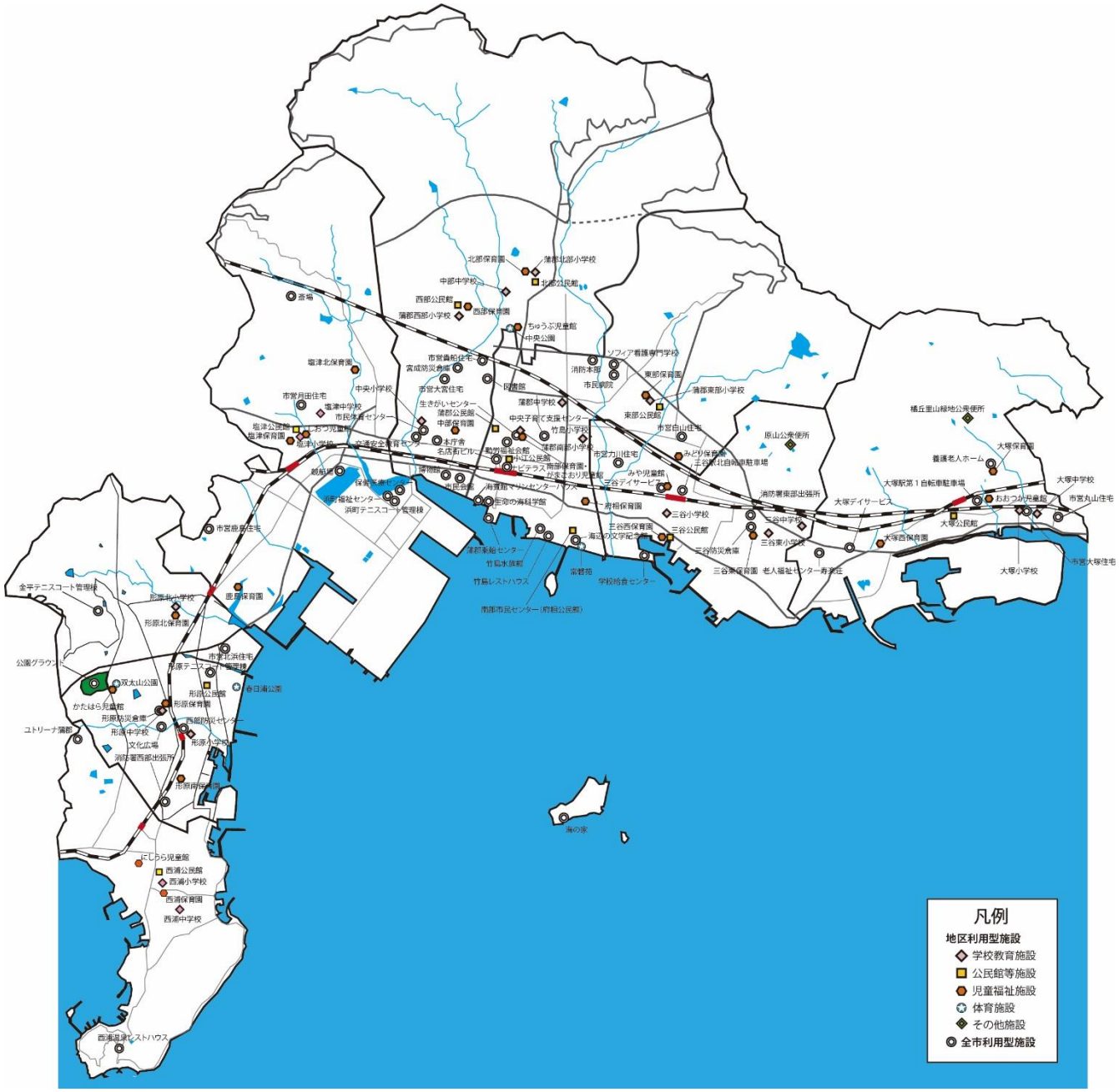
分類		西浦地区（6,263人）	形原地区（15,658人）	塩津地区（11,009人）	蒲郡地区（29,685人）		三谷地区（13,252人）	大塚地区（6,382人）
					北	南		
全市利用型施設	庁舎・車庫				本庁舎			
	市民会館				市民会館			
	博物館等				博物館	生命の海科学館 海辺の文学記念館		
	図書館				図書館			
	スポーツ施設		公園グラウンド、文化広場 金平テニスコート管理棟	浜町テニスコート管理棟	市民体育センター			
	その他（教育施設）					ソフィア看護専門学校	学校給食センター	
	斎場			斎場				
	福祉センター	ユトリーナ蒲郡		浜町福祉センター 保健医療センター		勤労福祉会館、生きがいセンター 中央子育て支援センター、市民病院	三谷デイサービス	養護老人ホーム、老人福祉センター寿楽荘 大塚デイサービス
	公営住宅等		市営北浜住宅	市営月田住宅、市営鹿島住宅	市営貴船住宅、市営大宮住宅	市営白山住宅	市営力川住宅	市営丸山住宅、市営大塚住宅
	観光施設	西浦温泉レストハウス				海賓館マリンセンターハウス、竹島水族館 竹島レストハウス、ナビテラス	海の家	
	消防署等		西部防災センター、消防署西部出張所 形原防災倉庫		宮成防災倉庫	消防本部	消防署東部出張所、三谷防災倉庫	
	その他施設			競艇場	交通安全教育センター	蒲郡乗船センター	三谷駅北自転車駐車場	大塚駅第１自転車駐車場
地区利用型施設	公民館	西浦公民館	形原公民館	塩津公民館	西部公民館、北部公民館	南部市民センター（府相公民館） 蒲郡公民館、小江公民館、東部公民館	三谷公民館	大塚公民館
	小学校	西浦小学校	形原小学校、形原北小学校	塩津小学校	蒲郡北部小学校、蒲郡西部小学校 中央小学校	蒲郡南部小学校、蒲郡東部小学校 竹島小学校	三谷小学校、三谷東小学校	大塚小学校
	中学校	西浦中学校	形原中学校	塩津中学校	中部中学校	蒲郡中学校	三谷中学校	大塚中学校
	保育園	西浦保育園	形原保育園、形原南保育園、形原北保育園	塩津北保育園、鹿島保育園（私） 塩津保育園	中部保育園、北部保育園、西部保育園	南部保育園、みどり保育園（私） 東部保育園、府相保育園	三谷東保育園、三谷西保育園	大塚西保育園、大塚保育園
	児童館	にしうら児童館	かたはら児童館	しおつ児童館	ちゅうぶ児童館	がまごおり児童館	みや児童館	おおつか児童館

出典：平成26年度　蒲郡市公共施設白書

1 「地区利用型施設」とは


蒲郡北地区
（旧蒲郡町エリア）
蒲郡南地区
塩津地区
（旧塩津村エリア）
形原地区
（旧形原町エリア）
三谷地区
（旧三谷町エリア）
大塚地区
（旧大塚村の大字相楽
・大字大塚エリア）
西浦地区
（旧西浦町エリア）

1 「地区利用型施設」とは



＜事前検討のテーマ＞

人口が減り、人口構成が変わっていく中での小中学校のあり方について思うこと

（ワークショップの進め方）

① 将来の小中学校では、「○○ができるとよい」、「○○のようになるとよい」といった提案をふせんに書き、事前に検討した内容をグループ内で各自発表しながら模造紙に貼っていってください。

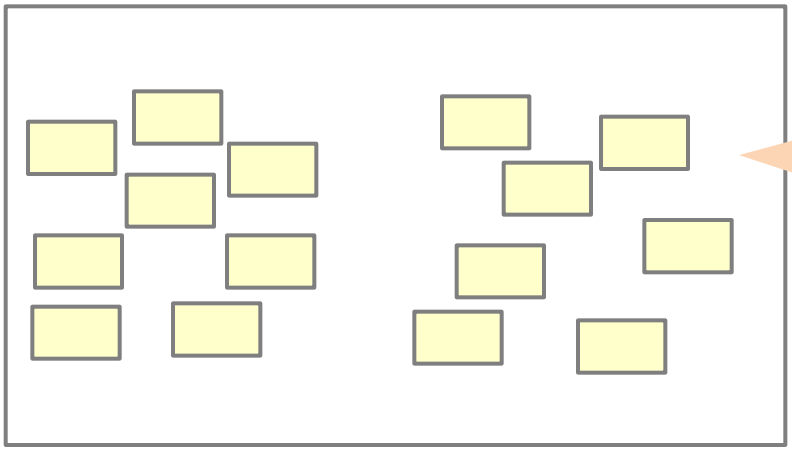
② 同じような意見をまとめ、グループを作成してください。

③ 作成したグループにタイトルをつけてください。

2 将来の学校の姿を考える（ワークショップのイメージ）

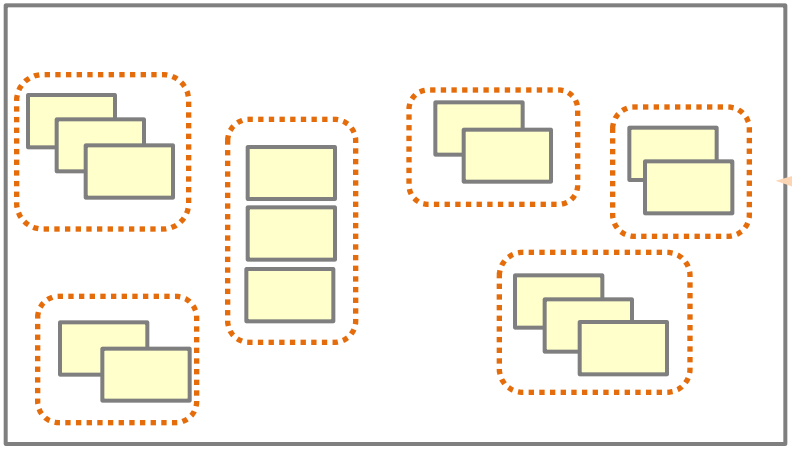
①提案をふせんに書く。

②発表しながら摸造紙に貼る。



貼る場所は気にせず、とにかく意見を出して貼っていく。

③同じような意見をまとめ、グループを作成する。

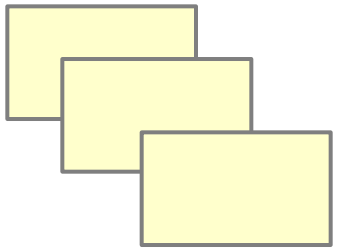


ふせんを並び替えて、グループを作成する。

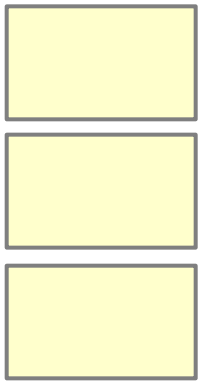
2 将来の学校の姿を考える（ワークショップのイメージ）

④グループに対して、タイトルをつける。

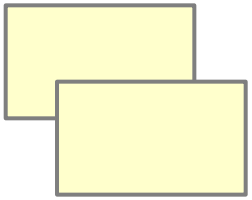
人口構成の変化にあわせて、〇〇が必要



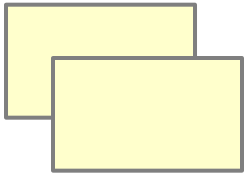
△△が問題になるので××すべき



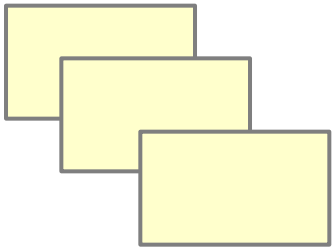
人口が減ると〇〇になるので△△したい



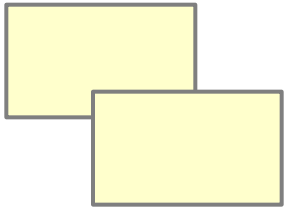
将来、△△ができると良い



□□中学校は××すると良い



個別の施設に関する意見もOK



□□小学校には〇〇が必要

参考　話し合いのルール

1．人の意見は最後までよく聞く

2．思いついたことは言ってみる

3．否定しない

4．全員が意見を出す

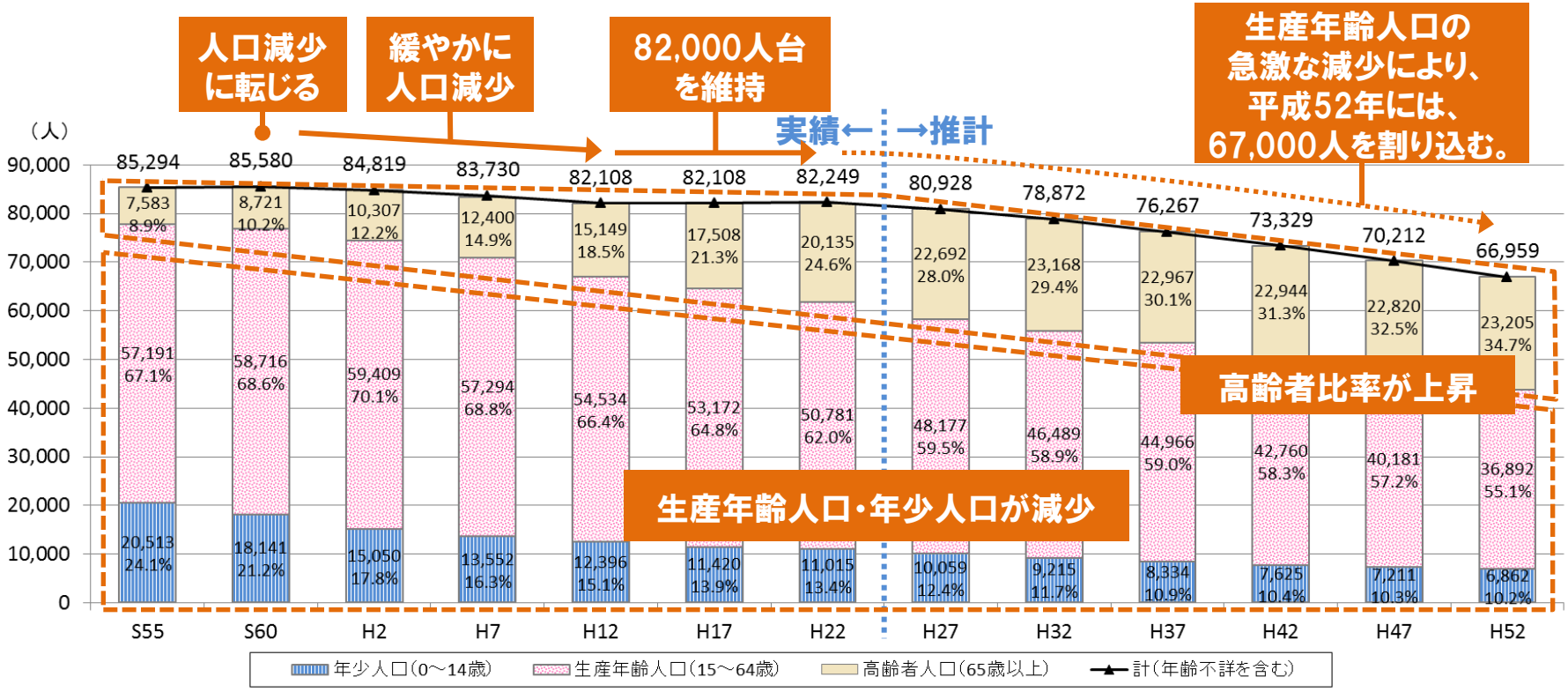
5．その場を楽しむ

3 社会の変化について考える

●蒲郡市の人口減少と少子高齢化

- 将来人口は、平成52年に67,000人を割り込むまで減少すると見込まれています。
  ⇒地域経済の規模が縮小すると考えられます。
- 平成22年から平成52年の間に、生産年齢人口・年少人口は減少し、高齢者人口は増加します。
  ⇒税収が減り、より少ない費用で公共施設を維持する必要が出てきます。
  ⇒充実した教育機会の確保や、高齢者の居場所づくりなどが求められます。

図：人口・年齢別人口構成の推移



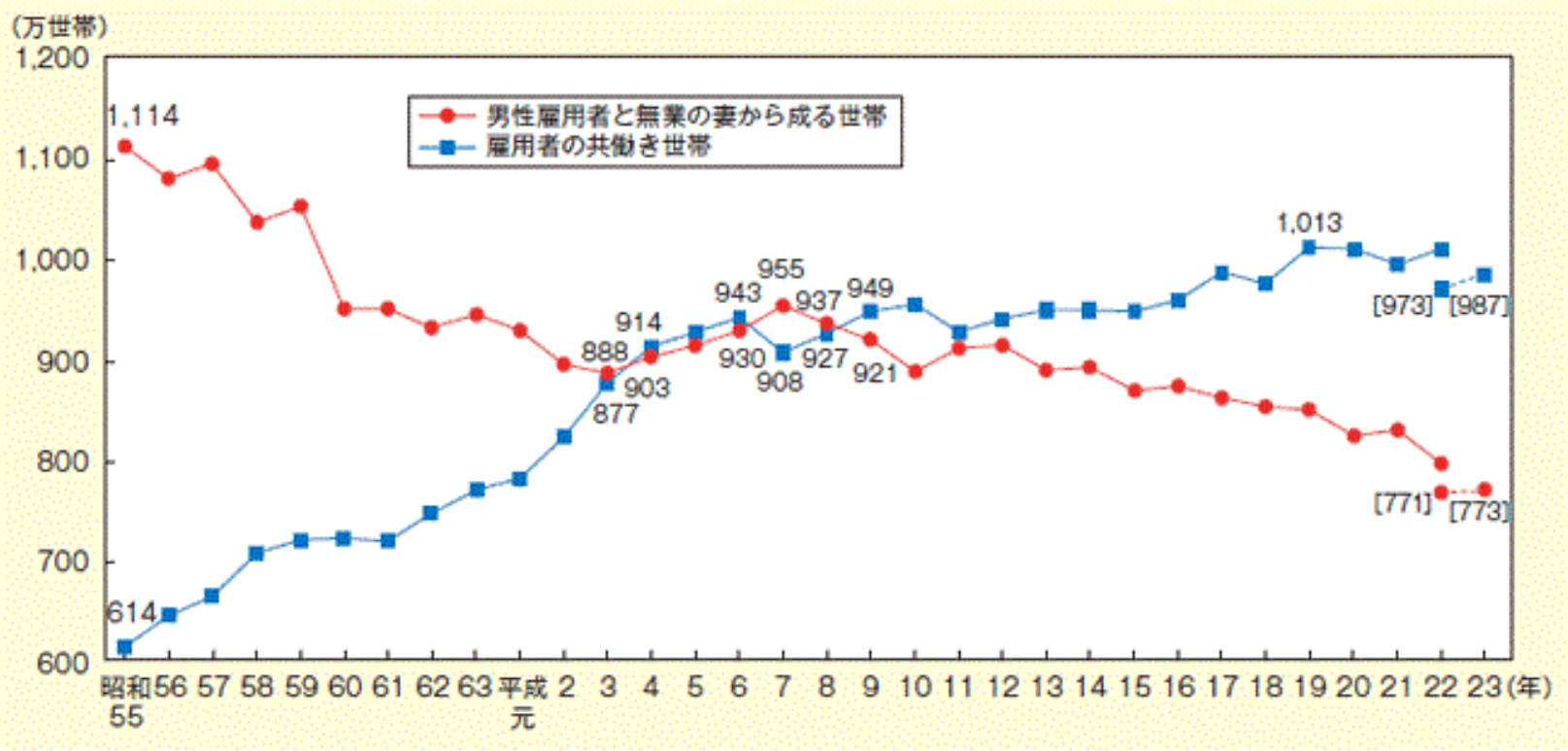
※実績値は、各年の国勢調査をもとに作成。
※推計値は、国立社会保障・人口問題研究所による推計値（平成22年国勢調査をもとに平成25年3月に公表）をもとに作成。

3 社会の変化について考える

●夫婦共働きの増加

- 雇用者の共働き世帯が増加し、「男性雇用者と無業の妻から成る世帯」は減少しています。
  ⇒子育て支援の充実や、共働き世帯も働きやすい環境づくりが求められます。

図：共働き等世帯数の推移



※出典：内閣府男女共同参画局ホームページ
http://www.gender.go.jp/whitepaper/h24/zentai/html/zuhyo/zuhyo01-03-17.html

3 社会の変化について考える

●公共施設に対するニーズの変化

- 建てられた当初の使われ方が、現在行われていない場合もあります。
  ⇒市民会館や市民センターで結婚式を行っていましたが、民間の式場等を利用するように変化。
- 従来の利用方法以外のニーズが生まれている場合もあります。
  ⇒図書館は本を読むだけでなく、パーソナルな場所やカフェなどの交流の場所としてのニーズも。

図：市民会館での結婚式

広報 がまごおり

昭和48年11月15日　第249号
月2回（1日 15日発行）　1部5円
昭和32年9月9日　第3種郵便物認可
発行／蒲郡市議会事務局　編集／市長公室秘書課

'73 11 下旬号

挙式第一号は鈴木さんと浅井さん

市民会館の結婚式場

十一月三日にオープンした市民会館の結婚式場で、最初に結婚式をあげた鈴木敏之さんと浅井啓子さん。

●ミニ統計　人口85,601人（男41,177人・女44,424人）　世帯数21,312　出生152人　死亡42人　転入259人　転出295人

市民憲章 三つの誓い
1. 「はい」「ありがとう」「すみません」、愛のことばでひとづくり
2. 心と体をすこやかに、笑顔で働きいえづくり
3. 海と空を美しく、みんなの力でまちづくり

一部とって早く隣へまわしてください。　— 本号は11月16日市役所を発送しました —

— 1 —

※出典：蒲郡市ホームページ　広報がまごおり昭和48年11月号
http://www.city.gamagori.lg.jp/site/kohogamagori/kouhou-4811.html

図：図書館の自習室、カフェ

※出典：ファシリテーター恒川先生提供資料

3 社会の変化について考える

●民間施設の多様化

- 民間施設でも、公共施設のように「地域の居場所」や「交流拠点」を設置する例があります。
  ⇒鹿児島市の「マルヤガーデンズ」では、商業施設に料理教室やイベントスペースを設置。
- もともと公共施設だったものを、民間が運営する例もあります。
  ⇒千葉県鋸南町の「サンセットブリーズ保田」は、閉鎖された宿泊施設を合宿施設にリノベーション。

図：マルヤガーデンズ（鹿児島県鹿児島市）

料理教室やイベントスペースに地域の人が訪れることによって、商業施設としての集客力も高めている。

※出典：マルヤガーデンズホームページ https://www.maruya-gardens.com/

図：サンセットブリーズ保田（千葉県鋸南町）

スカッシュやフットサル、ヨガなど、近年ニーズが高いスポーツができるようにし、食堂でミーティングも可能にするなど、民間のアイデアを活用。

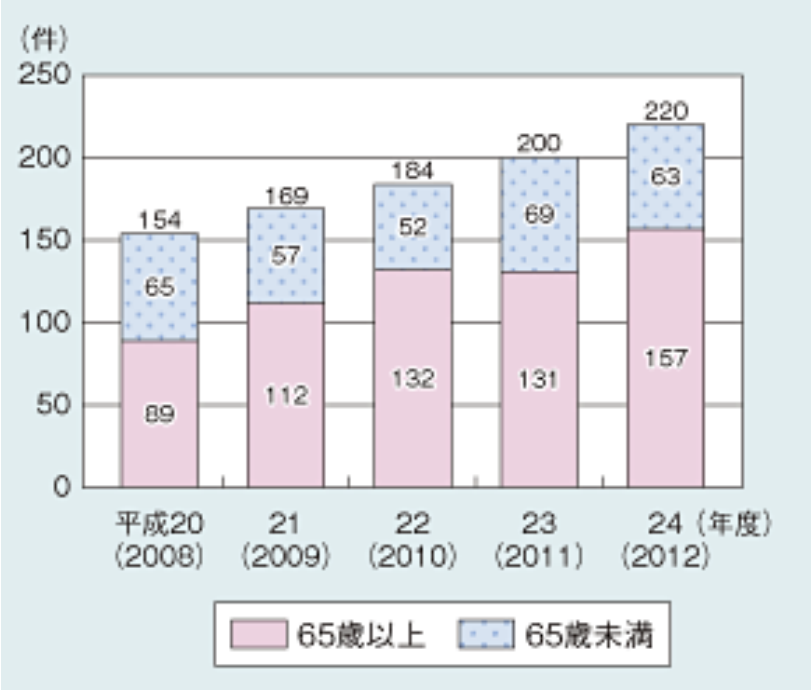
※出典：サンセットブリーズ保田ホームページ http://sunset-breeze.com/

3 社会の変化について考える

●地域コミュニティの必要性

- 一人暮らし高齢者が増え、孤独死が問題となっています。
  ⇒地域での見守りなど、コミュニティによる「支えあい」の必要性が増します。
- 地区で取り組むべき課題として、「防災」の重要性が高まってきています。
  ⇒地域における防災訓練の実施や、災害時における高齢者の安否確認等の必要性が増します。

図：単身居住者で死亡から1週間以上経過後に発見された件数
（都市再生機構が運営する賃貸住宅における例）



※出典：内閣府　平成26年版高齢社会白書（概要版）
http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2014/gaiyou/s1_2_6.html

図：兵庫県豊岡市西花園区防災ネットの活動の様子

※出典：内閣府　地域コミュニティの力を活用した風水害対策の活動事例
http://www.bousai.go.jp/fusuigai/sonota/index.html

お住まいの方が最も多い西浦地区について考えていただきます。

①社会の変化を踏まえて、西浦地区に関して、現在あるいは将来において何が課題であるかを考え、意見を出し合ってください。

②重要度に基づき、課題の順位付けを行い、模造紙にまとめてください。

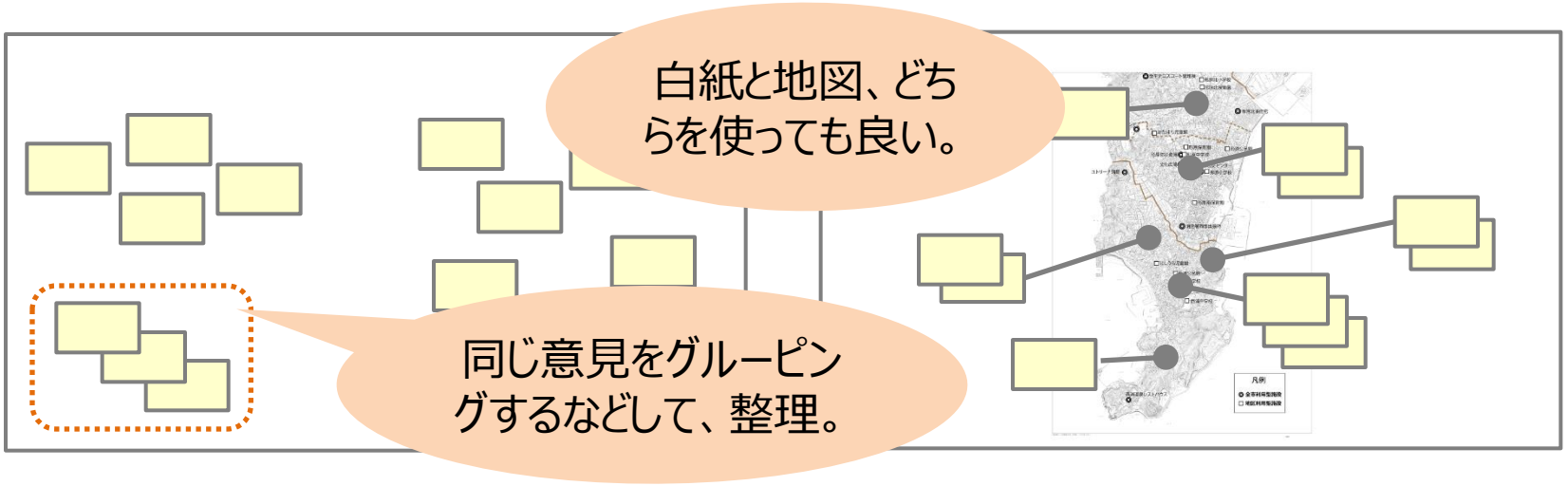
（補足）

◆ 高齢者、子ども、学生、働く親などさまざまな立場の目線で考えてください。

◆ 地図を使っても白紙を使っても構いません。

4 将来のまちの姿を考える（ワークショップのイメージ）

①西浦地区の現在・将来の課題について意見を出し合う。



②重要度に基づいて、課題の順位づけを行い、模造紙に整理

① ○○○○○○

② △△△△△△

③ □□□□□□

④ ◇◇◇◇◇◇

…

5 将来のまちの姿を考える　－西浦地区の活力を高める方法を考える－

①整理した課題に対して、どのようなまちづくりをするとよいかを考えて、意見をふせんに書き、地図に貼ってください。

特に公共施設でできることを具体的に考えてください。

【例】

「○○施設（場所）で△△できるようにする」

「○○と××を複合化することで△△ができるようにする」

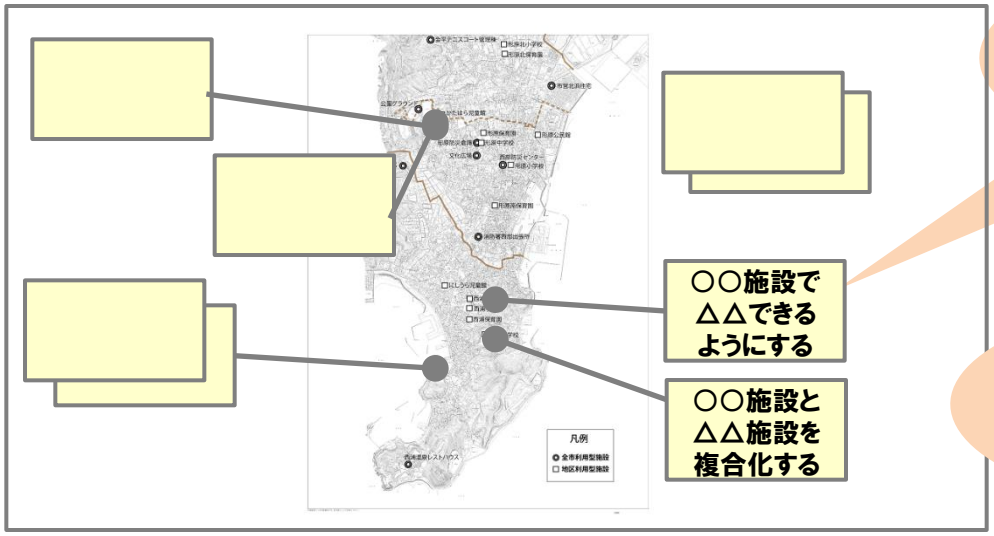
②意見のグルーピングを行い、タイトルをつけて、整理してください。

（補足）

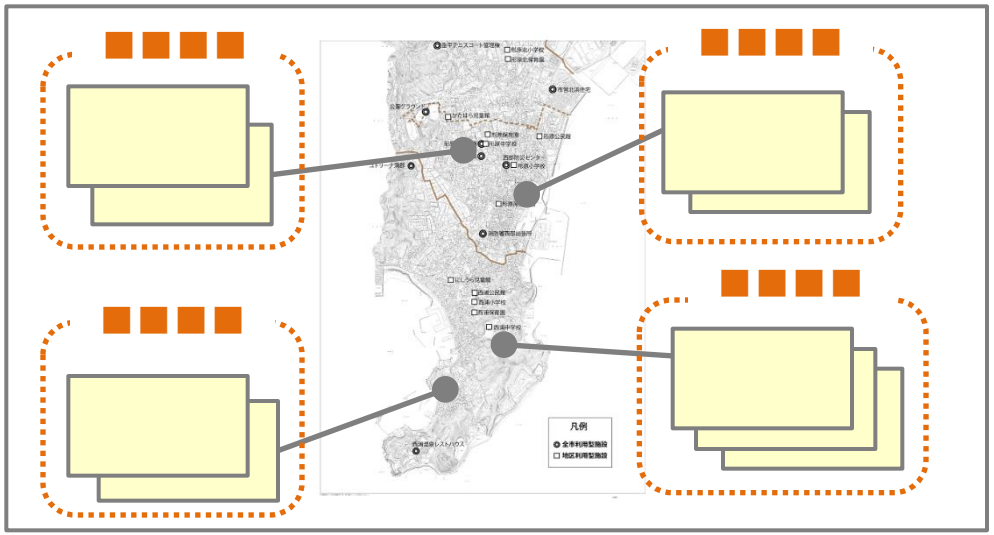
- **隣の地区を含めて考えても構いません。**
- **複合化等による施設総量の適正化も考慮してください。**

5 将来のまちの姿を考える（ワークショップのイメージ）

①整理した課題に対して、どのようなまちづくりをするとよいかを考え、意見をふせんに書いて、地図に貼る。



特に公共施設でできることを具体的に考える。

地図だけではなく、白紙を利用しても良い

②意見のグルーピングを行い、タイトルをつけて、整理する。